

## 腫瘍内科とは

函館中央病院  
腫瘍内科

笹木 有佑

科長 兼 外来化学療法センター長



みなさんは「腫瘍内科」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？ここで言う腫瘍とは「悪性腫瘍」いわゆる「がん」を指します。現在、日本人の2人に1人が、がんにかかり、3人に1人が、がんを落とす時代と言われています。がんはその種類や進行度に応じて、手術、放射線治療、薬物療法などさまざまな治療が必要になります。腫瘍内科医はその中でも薬物療法（抗がん剤治療）を行います。

がん剤治療は、手術前や手術後に行うことで術後の再発を予防したり、手術ができない状態のがんの進行を食い止めたりすること。がんの目的の治療です。また、腫瘍内科の役割は抗がん剤治療だけではありません。良いがん治療を行うためには、内科医、外科医、放射線科医、薬剤師、看護師、栄養士など、さまざまな職種が協力し合ってチーム医療を行うことが重要です。腫瘍内科医はいろいろな職種と連携をとり、チーム内の架け橋となることも重要な役割なのです。

実はこの腫瘍内科というのは、アメリカではとてもよく知られた科で、1万人以上の専門医がいます。しかし、日本に腫瘍内科が誕生したのは最近のことであり、抗がん剤治療の専門家である「がん薬物療法専門医」は、日本国内に約千人しかいません（北海道には52名）。がんに使える薬が数種類しかなかった数十年前と比べると、近年は抗がん剤の種類はどんどん増え続けており、現在は数ヶ月に1度は新しい抗がん剤が発売されています。また、吐き気止めや下痢止めなどの、副作用に効く薬も次々と生まれています。さらにはがんの遺伝子検査などを行うことによって、一部ではありますが抗がん剤が効く人と効かない人を、最初から判別できるようになりました。このように、日々進歩し続けているがん治療を専門的に行うのが腫瘍内科なのです。

### 函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代)  
<http://www.chubyou.com/>

- 診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目
- 受付時間／8:30～11:30、13:30～16:00  
※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
- 休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)

### 【略歴】

平成19年、弘前大学医学部卒業。札幌北楡病院、函館中央病院、国立がん研究センター中央病院勤務を経て、平成24年に順天堂大学大学院医学研究科入学、平成28年に同科を卒業。平成28年より函館中央病院腫瘍内科に勤務し、同年腫瘍内科科長兼外来化学療法センター長に就任。日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。

